

昭和62年度を迎えて

— STEPを堅実に —

社団法人山梨県栄養士会

会長 深山 武

私ども山梨県栄養士会は、栄養士法等関係法が一部改正され、又本会が法人化されたことを契機として、昨、昭和61年をHopの歳として再出発することとし、本会の定款施行細則に基づく諸規定を作ったところであります。

栄養士法等の一部改正により、一部の者が叫んでいるような「栄養士の出番がきた」というような甘ちょろい発想からではありません。過去40余年間私どもが切望し、努力してきた法改正主張が、曲りなりにも一部改正されたことに過ぎないことを忘れて、「鬼の首でもとった」ような気持ちで対応したならば、相変らず栄養士は浮ばれないことは必定であります。

この栄養士法の一部改正においても、栄養指導が単純、平易なものと、複雑、困難なものがあるという構想が払拭されず、栄養指導の専門職を栄養士と管理栄養士の二重構造とし、昭和37年制定された栄養士法の管理栄養士制度が固定化されることは由々しい問題であります。

今更言うまでもなく、栄養指導とは、国民一人ひとりが合理的な最良の食生活を実行することにより、最高の栄養状態を維持増進し、健康づくりの基調となる食生活指導をすることで、複雑困難この上もない業務であります。

例えば、有色野菜を一日に100g以上食べるよう指導するときに、その必要性を栄養生理学的に理解させても、それだけでは、この簡単なことでも、決して実行させることはできないでしょう。100gの有色野菜の選び方についても、又価格、時間等について、相手が可能な方法を。又調理にしても、器具、時間、嗜好等から勘案した実行できる方法を指導しなければなりません。こんな、所謂、日常茶飯事ですら、食生活の指導は誠に複雑困難なことであることを忘れた立法に憤を感じずにはおられません。

近時、国民生活の態様は、科学、技術の進歩とともに複雑、多様化し、特に食生活においては、急速な人口の老齢化による疾病構造の変化、それに伴う健康指向へのたかまりに対応する施策の社会的要望、又それに便利する商業的広告宣伝、情報の氾濫や外食急増に対する課題、等々飽食栄養失調問題に加えて、食糧の国際問題が追打をかけて、今や食生活の問題、従って栄養問題こそ、複雑困難な国家的課題となって参りました。

今こそ、栄養指導の専門職である栄養士の責任は誠に重大であると言わなければなりません。

これに応えるためには、その指導が、人文、自然、社会科学の科学に裏付けられたものでなければならないこと。情報処理技術が迅速、適確に活用されたものでなければならないこと等々が満たされなければ、栄養指導という多様化したヘルスサービスに対応できません。

このような栄養士としての適応性、即ち資質は要約すれば、改正法に定められた管理栄養士養成のカリキュラムについて学習を終えたものにあると考えられます。それを具体的に実証することは、さしむき管理栄養士の試験に合格することだと思います。但し、この試験課目にはない栄養士法施行規則第8条に定められた一般教育科目として定められた必修科目の人文・社会・自然の三分野に関する各一科目の学習は忘れてはなりません。このことは、栄養士の社会的評価に関する重要な一面となる資質であることを強調しておきたいと思えます。

昭和62年度は、私どもにとっては、三段飛びに例えればStepに当る歳であります。Stepは歩調の踏み段であります。次のJumpをより高く、より長く飛ぶため躍動の姿勢を整え、エネルギーを蓄積する作業であります。会員こそって管理栄養士試験に合格する活動がStepに果せられた課題であります。それには共同学習が必要です。みんなで力を併せて62年度の事業を完遂しましょう。

栄養やまなし

〒400
甲府市丸の内
二丁目38-8
山梨県栄養士会
☎ 0552-22-8593

No. 24
62年5月

※ 総会には全員出席しましょう。総会当日は、この資料を必ず持参してください。

欠席者をお願い

定期総会にあたり別紙「委任状」を総会前日までに必ず事務局までお届けください。

なお、委任者は出席者のうち、理事、監事を除く他の人（会員）であれば誰でも結構です。

(社) 山梨県栄養士会昭和62年度定期総会

期 日 昭和62年 5 月26日 (金) 受付 午後 1 時から (研修会 1 時30分 総会 3 時)
会 場 県立総合婦人会館 (甲府市朝気 1 - 2 - 2 Ⅷ 0552 - 35 - 4171)
総会内容 下記のとおり
○日本栄養士連盟山梨県支部総会も開催します。

研 修 会

演 題 病 理 学 から み た 栄 養
講 師 山梨医科大学副学長 竹 内 正 先生

定 期 総 会 次 第

開会のことば

会 長 あ い さ つ
来 賓 祝 辞
議 長 団 選 出
書記団・議事録署名人指名

議事 第 1 号議案 昭和61年度事業報告及び歳入歳出計算書並びに財産目録承認の件
第 2 号議案 昭和62年度事業計画及び歳入歳出予算承認の件
第 3 号議案 役員選任の件

閉会のことば

事 務 局 だ よ り

1. 会員調査票を提出してください。
栄養日本 1 月号71頁、5 月号40頁を熟知されて至急事務局までご送付ください。事務的の
手順としては (社) 日本栄養士会へ会費納入時にこの調査票を提出することになっております。
なお、備考欄に ①出身養成施設名、②卒業年月日、③管理栄養士資格取得者は資格取得別
(例えば管理栄養士養成施設卒か国家試験合格か特例によるものかの別) を記載して下さい。
2. 昭和62年度会費納入について (総会々場で受付けます)
会費納入は銀行口座、郵便振替、あるいは支部長、保健所栄養担当者まで、お願いします。
◎ 納入時会員番号を必ず記載してください。
○ 山梨中央銀行甲府駅前支店、普通預金口座 2 8 7 2 9 6
○ 甲府宝郵便局、口座番号 甲府 9 - 6 7 9 5
なお、新入会員の勧誘もよろしくお願いします。入会申込書は、支部長あるいは、保健所
栄養担当者にご請求ください。
3. 管理栄養士国家試験準備講習会のお知らせ
1) と き 6 月21日 (日) 午前10時から午後 4 時まで 2) と ころ 県立総合婦人会館
3) 講習の内容 受験者の心得、模擬テストと解説 4) 講師 東京大学講師 奥 恒行
5) 受講希望者は「はがき」または電話で予め事務局までご連絡ください。6) その他 非
会員は受講料 5, 000 円徴収

昭 和 6 1 年 度 事 業 報 告

昭和61年 5 月30日開催した定期総会の議決に基づき、次の事業を行った。

- (1) 栄養士法、栄養改善法の省会制定に対する要請活動
日本栄養士連盟と連携し要請活動を展開、この実現を図った。
- (2) 会員増と組織の育成強化
組織員の積極的な協力により19名の会員増加があった。また定款に基づき支部・部会規定を制定、
各部会、支部ごとに会則、規約を定め、弱小組織の確充に務め事業の円滑な運営を図った。
- (3) 会員の資質向上対策
会員の資質向上と管理栄養士国家試験対策として、講習会を 4 回開催一応の成果を治めた。
- (4) 県行政の活動
かいじ国体標準献立に基づいた調理指導と第22回全国身体障害者スポーツ大会「ふれあい広場」の
運営に協力して成果をあげた。第41回国民体育大会「かいじ国体」第22回全国身体障害者スポーツ大
会「ふれあいのかいじ大会」実行委員長望月知事よりそれぞれ感謝状が贈られた。また、在宅栄養士
活用システム整備事業を実施、市町村の活用状況と栄養士の活動状況を調査、目下集計中であるが、
今後のシステムの整備化に活用する。
詳細は、「昭和61年度事業報告」のとおりであります。

会 議

1 定 期 総 会

5. 30 於 甲府保健所

議 事 第 1 号議案 昭和60年度事業報告
及び歳入歳出決算並
びに財産目録承認の
件
第 2 号議案 昭和61年度事業計画
及び歳入歳出予算承
認の件
第 3 号議案 役員選任の件

2 理 事 会

5. 7

議 題

- ① 昭和60年度事業報告(案)及び歳入歳出
決算報告(案)について
- ② 昭和61年度事業計画(案)及び歳入歳出
予算(案)について
- ③ 昭和61年度定期総会の開催について
○ 定期総会の開催について
○ 役員の改選について

- 総会の運営について (議長団・議
事運営委員・書記団・議事録署名人
など)
- その他 (受付係・会場係・来賓接
待係など)

- ④ 植物油を考える集団給食講習会の開
催について
- ⑤ その他

6. 13

議 題

- ① 昭和61年度事業実施について
- ② 会長、副会長の互選について
- ③ 理事の事業分担について
- ④ (社) 日本栄養士会の代議員の選出につ
いて
- ⑤ その他

8. 22

議 題

- ① 事業報告 (4 月 1 日以降)
- ② 組織の拡充強化について
- ③ 委託事業の実施について
- ④ (社) 山梨県栄養士会定款施行細則につ

- いて
- ⑤ 管理栄養士試験対応策について
- ⑥ その他
10. 16
- 議 題
- ① かいじ国体及び全国身体障害者スポーツ大会協力事業の総括
- ② 県委託事業（在宅栄養士活用システム整備事業）の実施について
- ③ 健康づくり地区栄養相談栄養士研修会の開催について
- ④ 健康づくり米食栄養学術講習会の開催について
- ⑤ 第2回山梨県健康フェスティバル後援について
- ⑥ 昭和61年度栄養改善大会の実施について
- ⑦ 管理栄養士国家試験受験準備講習会の開催について
- ⑧ ㈸日本栄養士会関東ブロック会長会議について
- ⑨ 厚生大臣表彰被表彰者（竹口はる子、中村大家氏）の祝賀会の開催について
- ⑩ その他

12. 20
- 議 題
- 1) 報 告
- ① かいじ国体関係について
- ② 健康づくり米食栄養学術講習会について
- ③ 昭和61年度甲府支部総会について
- ④ 山梨県健康フェスティバルについて
- 2) 議 事
- ① 在宅栄養士活用システム整備事業（山梨県委託事業）について
- ② 健康づくり地区栄養相談栄養士研修会について
- ③ 昭和61年度栄養改善功労者知事表彰について
- ④ 昭和61年度栄養改善大会について
- ⑤ 「栄養やまなし」の発行について

- ⑥ 山梨県知事候補者の推せんについて
- ⑦ その他
3. 4
- 議 題
- 1) 報 告
- ① 昭和61年12月20日以降の事務処理状況の報告
- 2) 議 事
- ① 会員名簿の作成について
- ② 「栄養やまなし」の発行について
- ③ 在宅栄養士活用システム整備事業について
- ④ 老人保健事業推進のため、市町村に栄養士を設置する要望活動について
- ⑤ その他
- 3 会長、副会長会議
1. 30
- 議 題
- 1) 報 告
- 2) 議 事
- ① 保健所栄養士の複数設置について
- ② 2月2日(月)三役で部長訪問、要請
- ③ 日米関東ブロック会議について
- ④ 栄養改善大会開催について
- ⑤ 県委託事業（在宅栄養士活用システム整備）について
- ⑥ 在宅栄養士登録事項再調査
- ⑦ 管理栄養士受験準備講習会受講勧奨
- ⑧ その他

- 4 支部長会議
7. 4
- 議 題
- ① 支部の拡充強化策について
- ② 支部の昭和61年度重点目標について
- ③ 健康づくり米食栄養学術講習会開催について
- ④ その他
- 5 部会長会議
7. 24
- 議 題
- 1) 部会の拡充強化策について
- 2) 部会の昭和61年度重点事業目録について

3) その他

研 修 会 ・ 講 習 会

5. 30 於 甲府保健所（県と共催）
- 演題 食品衛生～最近における食中毒の動向について
- 県環境衛生課主査 戸 張 昌 彦
6. 24 於 山梨学院短大
- 植物油を考える集団給食講習会
- 一般講義 「我が国の油脂事情」
- ㈸日本油脂協会
- 調理示範 実習献立示範
- 山梨学院短期大学講師
- 代 田 たか代
- 専門講義 植物油の栄養と健康及び植物油の調理科学
- 前 山梨学院短期大学教授
- 竹 口 はる子
11. 27 於 大月市民会館
- 健康づくり米食栄養学術講習会
- 県民の栄養と健康づくりのための食生活指針
- 山梨県厚生部健康増進課主査
- 牛 山 孝 友
- お米の上手な食べ方
- 全国精麦工業協同組合常務理事
- 加 藤 欽一郎
12. 16 於 大月市民会館
- 健康づくり米食栄養学術講習会
- 調理示範及び実習
- 甲府調理師専門学校講師
- 丹 羽 君 代
- 山梨県の健康づくり推進事業について
- 山梨県厚生部健康増進課長
- 小 竹 久 平
12. 21 於 甲府市南公民館
- 管理栄養士国家試験準備講習会
- 試験の概要と学習要領

東京農大教授 赤 羽 正 之

受験者の体験

田草川 憲 男（行政）

白 須 そ の（医療）

塚 原 順 子（教養）

1. 18 於 県立総合婦人会館
- 管理栄養士国家試験準備講習会
- 解剖生理学
- 東京大学講師 奥 恒 行
2. 15 於 県立中央病院
- 管理栄養士国家試験準備講習会
- 生化学東京大学講師 奥 恒 行
3. 8 於 県立中央病院
- 管理栄養士国家試験準備講習会
- 病理学東京家政大学教授
- 宇津木 良 夫
3. 12 栄養士研修会（県と共催）
- 於 山梨学院短大「うす味とうま味を考える」
- 味の素㈱東京支店広報課長
- 佐 藤 紀 也

事 業

- 歯の健康無料相談（山梨県医師会と共催）
- 荏崎支部 6. 4
- 於 荏崎ショッピングセンター
- 吉田支部 6. 7
- 於 富士急ターミナルビル
- 甲府支部 6. 8
- 於 岡島百貨店
- 健康づくり歯科保健相談事業（県事業に協力）
- 甲 府 支 部 4 回 小笠原支部 1 回
- 日下部支部 1 回 荏 崎 支 部 1 回
- 石 和 支 部 1 回 吉 田 支 部 1 回
- 身 延 支 部 1 回 大 月 支 部 1 回
12. 20 竹口はる子、中村大家氏
- 厚生大臣表彰祝賀会
- 於 岡島ローヤル会館

出席者 来賓 8 名 会員 50 名

記念品贈呈者 35 名

2. 5 昭和61年度栄養改善大会（減塩運動推進大会）県と共催

於 山梨学院大学メモリアルホール

1. 大会式典 知事表彰

（栄養改善功労 林 芳江氏）

2. 事例発表 - 減塩運動推進 -（栄養士会関係公栄部会 沢村和子）

3. 講演 「健康づくりと食生活」
医事評論家 西 来 武 治氏

4. 展示コーナ 食卓コンクール、減塩
コンクール入賞作品

5. 大会宣言

3. 10 米食混合普及事業（山梨県栄養改善推進協議会と共催）

甲府、日下部、吉田、韮崎支部 各駅頭
においてチラシ及びサンプルを乗降客に
配布（甲府 1500部 他 500部）

3. 25 在宅栄養士活用システム整備事業

（県委託事業）

1. 在宅栄養士活用状況調査

- 県下市町村対象 -

2. 在宅栄養士活動状況調査

- 公衆栄養推進部会員対象 -

3. 公衆栄養推進部会だよりの発行

配布先 公栄部会員 保健所

市町村 栄養士会役員

栄養やまなしの発行 №20（5月）№21（9月）

№22（1月）№23（3月）

その他 ○図書、物資等の斡旋 健康増進の
しおり等の配布

日本栄養士会関係行事

会 議

4. 29 全国病院栄養士協議会緊急代表者会議

於 日本栄養会館

出席者 医療部会 波木井 なつ子

5. 17 昭和61年度全国病院栄養士協議会関東地

区代表者会議

5. 18 於 東京ニュー目黒

出席者 中込カズ代（甲府支部）

5. 17 関東地区栄養士会長、連盟支部長合同会
議

於 長野県上山田園山荘

出席者 深山会長

5. 22 東京大学細谷憲政教授退会記念会

於 東京上野精養軒

出席者 深山会長

6. 19 第28回通常総会

於 東京こまばエミナース

出席者 深山会長 長田参子

老沼理事

7. 12 昭和61年度全国福祉栄養士協議会代表者
会議

於 日本栄養会館 出席者 水池理事

7. 26 全国病院栄養士協議会総会

於 日本栄養会館 出席者 小沢副会長

8. 2 昭和61年度第1回都道府県栄養士会会長
議

於 日本栄養会館 出席者 深山会長

9. 19 全国産業栄養士協議会代表者会議

於 日本栄養会館 出席者 森田部会長

11. 12 日本栄養改善学会評議員会

於 千葉市ちば共済会館

出席者 深山会長

1. 10 茨城県栄養士会法人設立祝賀会

於 水戸市 魚 周 出席者 深山会長

2. 4 昭和61年度全国教育養成栄養士協議会代
表者会議

於 横浜市 ホリデイ・イン横浜

出席者 樋口千鶴（甲府支部）

2. 12 関東地区各県栄養行政担当者と各県栄養
士会長合同会議

於 甲府市 ニュー芙蓉

出席者 深山会長 小沢副会長

梶原副会長 中村事務局長

2. 21 昭和61年度第2回全国病院栄養士協議会
関東地区代表者会議

於 鎌倉市 K K R 鎌倉

出席者 老沼部会長

2. 21 昭和61年度第2回都道府県栄養士会会長
議

於 日本栄養会館 出席者 深山会長

3. 14 昭和61年度全国行政栄養士協議会代表者
会議

於 日本栄養会館

出席者 金子義憲（身延支部長）

研 修 会

8. 21 昭和61年度全国行政栄養士研修会

於 新潟市 新潟県庁

出席者 田草川憲男（甲府支部長）

小池美奈登（日下部支部）

8. 23 第2回病院栄養士管理セミナー（東会場）

於 盛岡市 愛真館

出席者 土屋都（甲府支部）

8. 28 地区別栄養士特別研修会（神奈川会場）

於 横浜市 横浜郵便貯金会館

出席者 秋山公栄部会長

9. 27 全国行政栄養士協議会新任者研修会

於 日本栄養会館

出席者 平井美樹夫（甲府支部）

四条さつき（大月支部）

11. 13 第33回日本栄養改善学会

於 千葉市 千葉文化会館外

出席者 27 名

12. 11 昭和61年度全国福祉栄養士協議会研修会

於 京都市 京都伝統産業会館

出席者 大原恵子（小笠原支部）

大久保真由美（韮崎支部） 河西順子

（大月支部） 奥村民子（身延支部）

五味保子（韮崎支部） 中込美代子

（韮崎支部）

1. 31 第1回臨床栄養学術セミナー

於 日本栄養会館

出席者 老沼部会長 土屋都、遠

藤ひろみ（甲府支部）

3. 26 昭和61年度全国教育養成栄養士研修会

於 横浜市 ホリデイ・イン横浜

出席者 樋口千鶴（甲府支部）

関係団体への協力

10. 25 第22回全国身体障害者スポーツ大会「ふ
れあい広場」行事に協力

於 小瀬スポーツ公園

豚汁 7000食 おでん 3500食を提供

従事者数 2日間 延29名

11. 12 第3回口腔衛生提唱へのつどい開催協力
山梨県歯科医師会主催

於 県民会館大ホール

11. 21 山梨県健康フェスティバルに協力

山梨県、山梨県健康づくり推進会議共催

於 県民会館大ホール

ヘルシーメニュー作成及び展示

（主体 公衆栄養推進部会）

竹口はる子氏には昭和61年度栄養士養成功
労、中村大家氏は栄養指導業務功労者として
厚生大臣表彰を受賞されましたが、これを記
念して本会に備品等購入するよう10万円ご寄
附くださいました。感謝を申し上げますととも
にご披露いたします。

昭和61年度 歳入歳出決算書

歳入総額 6,197,725 円
 歳出総額 5,319,444 円
 差引残額 878,281 円

歳入の部

(△:減)

款	項	目	予 算 額	決 算 額	比較増減	摘 要
会収入	会 費		1, 922, 500	1, 981, 500	59, 000	
		入 会 金	20, 000	49, 000	29, 000	1,000 円 × 49 人
		正 会 員 費	1, 402, 500	1, 512, 500	110, 000	5,500 円 × 275 人
		賛 助 会 員 費	500, 000	420, 000	△ 80, 000	10,000 円 × 42 口 (31社)
	協 賛 費		200, 000	185, 000	△ 15, 000	
		展示会協賛費	50, 000	30, 000	△ 20, 000	賛助会員出展料
		広 告 協 賛 費	150, 000	155, 000	5, 000	会誌等への広告手数料
	委 託 金		1, 415, 000	1, 408, 100	△ 6, 900	
		委 託 金	250, 000	250, 000	0	植物油を考える集団給食講習会 (社) 日本栄養士会
			158, 000	153, 200	△ 4, 800	健康づくり米食栄養学術講習会 (社) 日本栄養士会
			87, 000	82, 400	△ 4, 600	健康づくり地区栄養相談栄養士研修会 (社) 日本栄養士会
			920, 000	922, 500	2, 500	在宅栄養士活用システム整備事業 山梨県
	物資幹旋		150, 000	197, 075	47, 075	
		幹 旋 手 数 料	150, 000	197, 075	47, 075	図書等幹旋手数料
	雑 収 入		1, 247, 500	1, 242, 119	△ 5, 381	
		雑 収 入	100, 000	4, 619	△ 95, 381	預金利子等
		預 り 金	1, 147, 500	1, 237, 500	90, 000	(社) 日本栄養士会々費 4,500 円 × 275 人
	繰 越 金		1, 183, 931	1, 183, 931	0	
		前年度繰越金	1, 183, 931	1, 183, 931	0	
合 計			6, 118, 931	6, 197, 725	78, 794	

歳出の部

(△:減)

款	項	目	予算額	決算額	比較増減	摘要
会支出	事務所費		2,970,000	2,587,972	△382,028	
		職員費	1,500,000	1,400,000	△100,000	職員給与12か月分及び手当
		賃金	520,000	315,000	△205,000	会長行動費12か月 280,000円及び雇上 7日分 35,000円
		旅費	100,000	74,000	△26,000	(社)日本栄養士会 総会出席旅費等

款	項	目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
		需 要 費	450,000	433,520	△ 16,480	栄養やまなし、会員名簿印刷費 事務消耗品費
		役 務 費	200,000	209,952	9,952	通信運搬費
		賃 借 料	150,000	107,000	△ 43,000	事務所使用料、駐車料等
		渉 外 費	50,000	48,500	△ 1,500	慶弔、見舞、餞別等
		租 税 公 課	0	0	0	
	会 議 費		210,000	156,883	△ 53,117	
		総 会 費	70,000	69,640	△ 360	
		役 員 会 費	80,000	50,243	△ 29,757	役員会旅費、茶菓子代
		連 絡 会 議 費	60,000	37,000	△ 23,000	関東地区会長会議出席旅費等
	事 業 費		990,000	846,090	△ 143,910	
		歯の無料健康 相 談 費	30,000	21,277	△ 8,723	甲府、吉田、韭崎 3 支部
		健 康 づ くり 歯 科 相 談 費	40,000	40,000	0	8 支部
		委 託 事 業	900,000	784,813	△ 115,187	植物油を考える集団給食講習会 252,888 円 健康づくり米食栄養学術講習会 172,020 円 健康づくり地区栄養相談栄養士研修会 102,800 円 在宅栄養士活用システム整備事業 257,105 円
		物 資 幹 旋	20,000	0	△ 20,000	
		補助金及 び負担金		455,000	414,199	△ 40,801
	研 修 補 助 金		352,000	341,000	△ 11,000	栄養改善学会出席者 27 人 支部、部会 均等割 10,000 円× 7 支部 10,000 円× 7 部会 支部、部会人員割 支部 200 円× 275 人 部会 200 円× 275 人
	負 担 金		103,000	73,199	△ 29,801	栄養改善大会 40,000 円 栄養士研修会 21,199 円 (社) 日本小児保健協会々費 7,000 円 日中友好促進県民会議会費 5,000 円
	備 品 費		100,000	46,000	△ 54,000	
			100,000	46,000	△ 54,000	留守番電話
	雑 費		1,197,500	1,268,300	70,800	
		雑 費	50,000	30,800	△ 19,200	関係友好団体祝金等
		預 り 金	1,147,500	1,237,500	90,000	(社) 日本栄養士会々費 4,500 円× 275 人
	予 備 費		196,431	0	△ 196,431	
		予 備 費	196,431	0	△ 196,431	
合	計	6,118,931	5,319,444	△ 799,487		

監査報告

監査したところ、上記のとおり相違ありません。

昭和62年5月13日

監事 田草川 憲 男 ㊟
 深 沢 清 子 ㊟
 河 南 洋 子 ㊟

財 産 目 録

昭和62年3月31日現在

資 産 の 部	内 訳	金 額
1. 流 動 資 産		単位円
1) 現 金 預 金		
(1) 現 金	現金手許有高	0
(2) 当 座 預 金		
(3) 普 通 預 金	山梨中央銀行甲府駅前支店	878, 281
(4) 定 期 預 金	山梨中央銀行県庁支店	1, 383, 218
2. 固 定 資 産		
1) 什 器 備 品		
	① ビデオデッキSL-F1・ビデオカメラH・V ・C F及び付属品一式	200, 000
	② コピー機 RICOH一台	150, 000
	③ スライド映写機	50, 000
	④ 電話(0552-22-8593)	40, 000
	⑤ ロッカー 5個	50, 000
	⑥ 収納式書棚 1	50, 000
	⑦ 書 棚 1	4, 000
	⑧ 机(6脚)椅子(20脚)	100, 000
	⑨ 自転車、食器戸棚、扇風機等	50, 000
	⑩ 石油ストーブ 1台	13, 000
	⑪ 広辞林、電卓 各1	12, 000
	⑫ 映画フィルム「うすい血」「脳卒中を防ぐ」 各1巻	20, 000
	⑬ スライド「食生活と健康」「高血圧と食生活」 「健康づくりのための食生活指針」 各1巻	30, 000
	⑭ リコーワープロREPORT 1600	200, 000
資 産 合 計		3, 230, 499

昭和62年度 事業計画 (案)

昭和61年度は、本会のHop、跳躍の歳としたが、今年度はStep、歩調を整え、Jumpに備えて、一步を進める歳として、次の事業を強力に実施する。

- (1) 全会員がすべて資質を向上し、1人なしが管理栄養士の資格を獲得するよう共同学習活動を行い、併せて組織の強化拡充を図る。
- (2) 栄養士の社会的地位の向上を図るとともに、保健所に複数の栄養士、各市町村に栄養士の設置運動を推進する。
- (3) 外食の研究と家庭食との関わり合いを追求し、合理的な充実した食生活が実行できる指導を行う。
- (4) 県の栄養行政に協力し、県民の健康づくり、福祉の増進に寄与する。

■ 管理栄養士国家試験受験講座の斡旋

第一出版社発行 全16巻 栄養日本広告参照

ご希望の方は事務局まで電話でご注文ください。

東京築地 高級鮮魚卸小売
直 入

魚 日 出 株 会 社

●甲府市相生二丁目3-16 ☎35-7648代

代表取締役社長 山田 日出男

昭和62年度 歳入歳出予算（案）

歳入の部

（△：減）

科 目	予 算 額			前 年 度 予 算 額	比較増減 (△：減)	摘 要
	款	項	目			
会 費	2,030,000					
会 費		2,030,000				
入 会 費			40,000	20,000	20,000	
正 会 員 費			1,540,000	1,402,500	137,500	目 日 200.270
賛 助 会 員 費			450,000	500,000	△50,000	
事 業 費	1,765,000					
委 託 費		1,365,000				
委 託 費			0	250,000	△250,000	植物油を考える集団給食講習会
			200,000	0	200,000	日本臨床栄養研究会(社)日本栄養士会
			158,000	158,000	0	健康づくり米食栄養学術講習会(社)日本栄養士会
			87,000	87,000	0	健康づくり地区栄養相談栄養士研修会
			920,000	920,000	0	在宅栄養士活用システム整備事業(梨県)
手 数 料		200,000				
手 数 料			200,000	150,000	50,000	物資、図書斡旋手数料
広 告 料		200,000				
広 告 料			200,000	200,000	0	展示料 50,000 円 広告料 150,000 円
雑 収 入	1,470,000					
雑 収 入		1,470,000				
雑 収 入			200,000	200,000	0	寄付金
			10,000		△90,000	預金利子
預 り 金			1,260,000	1,147,500	112,500	(社)日本栄養士会々々費(4,500円×280人)
繰 越 金	878,281					
繰 越 金		878,281				
繰 越 金			878,281			昭和61年度繰越金
合 計	6,143,281	6,143,281	6,143,281	6,118,931	24,350	

歳出の部

（△：減）

科 目	予 算 額			前 年 度 予 算 額	比較増減	摘 要
	款	項	目			
法 人 費	1,070,000			610,000	460,000	
会 議 費		220,000		210,000	10,000	
総 会 費			70,000	70,000	0	昭和62年度定期総会
役 員 会 費			120,000	80,000	40,000	理 事 会 4 回 60,000 円
						支 部 長 名 会 2 回 20,000 円
						部 長 会 2 回 10,000 円
						部 会 長 会 2 回 20,000 円
						監 事 会 2 回 20,000 円

科 目	予 算 額			前 年 度 予 算 額	比較増減	摘 要
	款	項	目			
法人運営費			30,000	60,000	△30,000	関東地区会長会議 30,000円
渉 外 費		100,000		50,000	50,000	
事務管理費		750,000		350,000	400,000	
役員行動費			300,000	100,000	200,000	正副会長行動費(社)日栄総会出席費
事務所管理費			450,000	250,000	200,000	事務所使用料、駐車料等 150,000円 クーラー設置費 300,000円
租 税 公 課			0	0	0	
事 業 費	3,245,000			3,660,000	△415,000	
事 業 費		935,000		990,000	△55,000	
講習会等			0	250,000	△250,000	植物油を考える集団給食講習会
			200,000	0	200,000	臨床栄養研究会
			158,000	158,000	0	健康づくり米食栄養学術講習会
			87,000	87,000	0	健康づくり地区栄養相談栄養士研修会
			420,000	405,000	15,000	在宅栄養士活用システム整備事業
			30,000	30,000	0	歯の無料相談事業
			40,000	40,000	0	健康づくり歯科保健相談事業
物資斡旋			0	20,000	△20,000	物資斡旋諸経費
広 報 費		280,000		260,000	20,000	
広 報 費			280,000	260,000	20,000	「栄養やまなし」発行年4回
事務管理費		2,030,000		2,410,000	△380,000	
職 員 費			1,500,000	1,500,000	0	職員給与
			60,000	520,000	△460,000	雇上賃金
事務所費			470,000	390,000	80,000	需要費、消耗品、郵便、電話料等
補助金及び負担金	457,000			455,000	2,000	
補 助 金		362,000		352,000	10,000	
補 助 金			150,000	150,000	0	8支部、7支部会研修補助金10,000×15
			112,000	102,000	10,000	支部、部会人員制(200円×280人)×2
			100,000	100,000	0	栄養改善学会補助
負 担 金		95,000		103,000	△8,000	
負 担 金			80,000	80,000	0	
			10,000	20,000	△10,000	(社)日本小児保健協会費
			5,000	3,000	2,000	日中友好促進協議会費
雑 費	1,260,000			1,197,500	62,500	
雑 費		1,260,000		1,197,500	62,500	
雑 費			0	50,000	△50,000	
預 り 金			1,260,000	1,147,500	112,500	(社)日本栄養士会費 45,000円×280人
予 備 費	111,281			196,431	△85,150	
予 備 費		111,281		196,431	△85,150	
予 備 費			111,281	196,431	△85,150	
合 計	6,143,281	6,143,281	6,143,281	6,118,931	24,350	

昭和62年度 定期総会

(社)日本栄養士連盟山梨県支部

期 日 5月26日(火)
 会 場 総合婦人会館 (甲府市朝気1-2-2)
 議 題 1. 昭和61年度事業報告及び収支決算承認の件
 2. 昭和62年度事業計画及び歳入歳出予算承認の件
 3. その他

第1号議案

昭和61年度事業報告及び収支決算承認の件

〔1〕 事業報告

(1) 選挙活動

栄養士法第一部改正運動の促進のため、前年度から引き続き山東昭子調栄養士連事務局長の後援会名簿の作成に当り、目標を達成した。また、7月6日の衆参両院同日選挙に当り、参議員には山東昭子氏を、衆議員には調栄養士連所属の堀内光雄氏を推せんし選挙支援活動を行った。

尚、本年1月25日に行われた知事選には本会顧問望月幸明氏を推せんし支援活動を行なった。

(2) 栄養士法第一部改正法の適正な運営促進活動

改正法の適正運動について、本部に協力、陳情活動を行った。

(3) 本部、支部間の連携強化

本部、支部間の連携を図るため、関東ブロックの会と支部長との合同会議によりその強化を図った。

第2号議案

昭和61年度 収入支出決算書

前年度繰越金	130,053 円	財産管理状況
収 入	177,747 円	
支 出	109,800 円	(定期預金 450,950 円)
残 高	198,000 円	山梨中央銀行県庁支店

収 入 の 部

科 目	金 額	摘 要
会 費	137,000 円	500 × 274 人
繰 越 金	130,053 円	昭和60年度繰越金
連 盟 本 部 か ら	40,000 円	
預 金 利 子	747 円	
計	307,800 円	

支 出 の 部

本 部 納 金	68,500 円	250 円 × 274 人
選 挙 活 動 費	40,000 円	陣中見舞(2名)
雑 費	1,300 円	額縁
計	109,800 円	

監 査 報 告

昭和62年5月 日監査したところ上記のとおり相違ありません。
 昭和62年5月 日

監 事 竹 口 はる子
 〃 齊 藤 正 治

昭和62年度 事業計画 (案)

(1) 目 的

栄養士の資質の向上、社会的地位の確立のために政治活動を行う。

(2) 事 業

1. 栄養士法関係法一部改正に伴う諸制度の改善、整備に関する活動。特に、栄養士、管理栄養士の設置の拡充及び自営業の開拓に努める。
2. 管理栄養士試験合格率の向上に協力する。
3. 政治に関する意欲を高め、婦人の社会的地位の向上に努める。

昭和62年度 歳入歳出予算 (案)

収 入 の 部

科 目	金 額	摘 要
会 費	140,000 円	500 円 × 280 人
雑 収 入	500 円	利 息
繰 越 金	198,000 円	
計	338,500 円	

支 出 の 部

科 目	金 額	摘 要
本 部 納 金	70,000 円	250 円 × 280 人
会 議 費	60,000 円	関プロ会長会議 役員会
旅 費	60,000 円	同上旅費
需 要 費	148,500 円	通信費、諸雑費
計	338,500 円	

★ 賛助会員名簿 ★

(順不同)

昭和62年4月末日現在

業 務 内 容

商 社 名

電 話 番 号

代 表 者 氏 名

防鼠害虫駆除 除
食器、厨房機器
ソフクリーン、もずく、煮豆
鮮魚卸、小売り
ハイネックス、ボカリスエット
給食材料
印 刷
医薬品製造、販売
ジャンプ、ヘルスフー ド
煮 豆
惣菜用食品材料卸
即席カップめん
醤油、減塩調味料
食器、トレイ
醤油、給食材料
厨房企画設計管理
麦の総合食品メーカー、“はつらつ”
食品、雑貨スーパー
結婚式場、儀式産業
パン製造
総合食品卸
味 噌
鮮魚、煮貝
鰹の素、だしの素
ミルク、乳製品
製 麵
鮮 魚
給食材料、厨房機器
鶏 卵
豆腐、大豆加工品
健康科学ヤクルト
総合医薬品卸
ミルク、乳製品
厨房設計管理
牛 乳
書 籍
書籍(日本の食文化大系)
ワープロ、パソコン、コピー
栄養関係法規、栄養コンピューター

0552-32-8177 宮 沢 公 広
0552-35-2351 名 取 忠 信
0552-66-2331 上 田 昭 雄
0552-35-7648 山 田 日出男
0552-76-8581 加 茂 信 泰
0552-22-5181 荻 野 恒 男
0552-35-6010 小 沢 孝
0552-73-6521 太 田 徹
03-320-0800 原 田 純 男
03-682-6681 窪 田 栄 松
0552-73-4561 中 込 豊 秋
0552-73-2511 大 沢 康 二
0552-24-4415 天 野 袈裟富
0262-43-1115 小 野 清
0552-35-1141 武 田 辰 男
0552-73-3881 井 上 寛
0556-22-2121 長 沢 利 久
0552-33-0121 二子石 宣 威
0552-22-1111 秋 山 章
0552-26-3411 梅 本 薫
0552-28-1347 三 科 喜 男
0552-41-8181 宮 坂 伊兵衛
0552-26-3742 飯 島 忠
05462-8-7371 村 松 善 八
0552-22-7164 塩 出 一 彦
0552-22-5510 清 水 清 富
0552-28-1592 村 田 翠
0552-66-5175 成 沢 政 則
0552-26-0005 細 川 勝 吉
0552-28-1675 菊 原 甲子男
0552-37-8960 上 田 俊 一
0552-51-1121 広 瀬 順 作
0425-28-2527 田 川 祐 次
0552-26-2800 森 沢 茂 男
0552-24-2201 細 川 勝 人
03-291-4576 栗 田 元
045-252-7242 鈴 木 勝 己
0552-73-7151 加 藤 卓
03-269-2220 河 合 善次郎

お泉屋(行)

1イカリ環境サービス(株)
2和泉屋名取(株)
3上田商店
4魚日出(株)
5大塚製薬甲府出張所
6オキノ食糧(株)
7オザワプリント社
8(株)三和化学研究所甲府営業所
9キューピー(株)関東支店
10(株)くぼた
11甲信食糧(株)
12甲府東洋(株)
13シンキシマ醤油(株)
14信濃化学工業(株)
15武田食糧(株)
16(株)日新厨房企画
17白麦米(株)
18ファミリコマー
19(株)平安閣
20丸十山梨製パン
21みしな食品(株)
22宮坂醸造(株)
23湊 與(株)
24村松商店
25森永乳業(株)甲府営業所
26山梨県製麺共同組合
27山一水産(株)
28山梨食品
29(有)山梨鶏卵市場
30山梨県豆腐商工組合
31山梨ヤクルト販売(株)
32(株)やまひろ
33雪印乳業東京西支店
34北沢産業株式会社甲府支店
35山梨県牛乳協会
36第一出版株式会社
37(株)修学堂
38山梨リコー株式会社
39新日本法規出版(株)



全国で愛用されている

信濃化学の

給食用プラスチック食器

民芸調メラミン食器 益子(特許第941944号)

foil絵付メラミン食器 ◆タフトレイ(FRP角膳)

ダブルカラーポリプロ食器 六花 ◆ポリプロ食器

透明食器(ポリカーボネート製) ◆流動食コップ(700, 400, 250ml)

重度心身障害者用食器 ◆好評新発売 保温飯丼・汁椀

製造直売

JIS表示許可工場

信濃化学工業株式会社

〒380 長野市大字古野583番地 TEL 0262-43-1115(代)

FAX 0262-43-1520

カンナのいらない鰹節

焼 津



鰹の素

(だしの素)

パウニー®



〔製造発売元〕

静岡県焼津市城之腰65の1

株式会社 村松

TEL (05462) ⑧-7371 代表



ジャンフェの流動食

おいしく、あきのこない
卵黄レシチン入り、リキッドダイエット。
各種栄養素をバランスよく配合しました。

カラダに やさしい 味方です。

カラダにやさしく、消化吸収。
まろやかなおいしさの流動食です。

濃厚流動食 リキッドダイエットK-1

内容量：1缶200mℓ (200kcal)



- たんぱく質：NPC/N=150、プロテインスコア=100と理想的なバランスに。
- 糖類：消化吸収しやすいデキストリンと、しよ糖を使用。
- 脂質：消化吸収のよい中鎖脂肪(MCT)、調整サラダ油および卵黄レシチンを使用。
- ビタミン：成人一日分のビタミン所要量(A、B₁、B₂、C、D、ナイアシン)を5缶(1000mℓ)で。
- エネルギー：1缶当り200kcal (1kcal/mℓ)。カロリー計算も簡単。
- エネルギー構成比：三大栄養素をバランスよく配合。(たんぱく質14%、糖質53%、脂質33%)。

成分(製品100mℓ当り)	リ	ン	104mg	ビタミンA	200 iu
水分	85.2g	鉄	0.35mg	ビタミンB ₁	0.1mg
たんぱく質	3.5g	ナトリウム	51.5mg	ビタミンB ₂	0.14mg
糖質	13.3g	カリウム	164mg	ビタミンC	5mg
脂質	3.7g	塩素	146mg	ビタミンD	10 iu
カルシウム	128mg	マグネシウム	11.9mg	ナイアシン	1.7mg

※使用上の注意／乳糖不耐症の方へのご使用は避けてください。

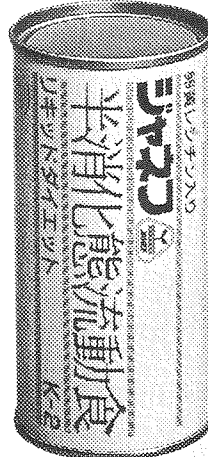
乳清たんぱく使用、低乳糖タイプ。

乳糖不耐症の方にもおすすめします。

新発売

半消化態流動食 リキッドダイエットK-2

内容量：1缶200mℓ (200kcal)



- たんぱく質：乳清たんぱく使用。NPC/N=156、プロテインスコア=100、Fischer比=3.5となっています。
- 糖質：消化吸収のよいデキストリンとしよ糖を使用。乳糖は必要最少限に。(0.8g/100mℓ)
- 脂質：消化吸収のよい中鎖脂肪(MCT)、調整油および卵黄レシチンを使用。
- ビタミン：成人一日分のビタミン所要量(A、B₁、B₂、C、D、ナイアシン)を5缶(1000mℓ)で摂取。
- エネルギー：1缶当り200kcal (1kcal/mℓ)。カロリー計算も容易。
- エネルギー構成比：三大栄養素のバランスは理想的。(たんぱく質14%、糖質55%、脂質31%)。

成分(製品100mℓ当り)	リ	ン	34.4mg	ビタミンB ₁	0.1mg
水分	85.0g	ナトリウム	68.3mg	ビタミンB ₂	0.14mg
たんぱく質	3.5g	カリウム	39.6mg	ビタミンC	5mg
糖質	13.8g	塩素	43.6mg	ビタミンD	10 iu
脂質	3.4g	マグネシウム	3.17mg	ナイアシン	1.7mg
カルシウム	33.6mg	ビタミンA	200 iu		

このほかジャンフェ・ヘルスフードには、
カロリー調整食品・塩分調整食品・調整油脂食品などがあります。

キユービー株式会社

〒150 東京都渋谷区渋谷1-4-13 ☎03(486)3252

日本ヘルスフード株式会社

〒104 東京都中央区八丁堀4-10-2 ☎03(553)2491

’ 8 8 年 飛躍の歳を迎えて

社団法人 山梨県栄養士会

会長 深 山 武

会員の皆さん方が、健やかに、輝かしい新春を迎えられましたことはご同慶に
甚えません。

昔から「一年の計は元旦にあり」と云われていますが、新春の清々しい気分で
一年の生活設計を樹てることは、誠に意義深いことと思います。

私は従来、本会発展の活動方針を三段飛びに喩えて提唱して参りました。即ち、
(1) 助走。日本栄養士会発足から1960年まで。

昭和20年に作られた名称法に過ぎない栄養士規則に始まった栄養士制度が、こ
の度、栄養士法及び栄養改善法の一部改正で曲りなりにも、資格規定となったこ
と、又、本会が、長い間の念願であった社団法人となったことも、栄養士会が40
余年に亘る努力の成果であります。この間の栄養士会の活動は、栄養士が飛躍的
発展を成し遂げるための誠に厳しい助走であつと考えます。助走は、次のホップ、
ステップ、ジャンプのエネルギーを生産するために重要な活動であることは申す
迄ありません。

(2) 次は、ホップの段階であります。1961年度

ホップは前号でも申したとおり、セーフで踏み切ることができたと思います。
この段階では、助走で培ったエネルギーを弱めることなく、加速することが大切
なことです。それには、正しい姿勢が必要です。そのために本会では、本会の
定款施行細則をはじめ、諸規定を定め、法人としての体制を整備してきたことはご承知のとおりであ
ります。スポーツに於ける三段飛びにおいては、ステップに移行する前の重心の移動に気をつけるよ
うにと注意しております。

(3) 次は、ステップの段階です。1962年

この段階では、「地面に対して、垂直な姿勢をとれ、前傾するな」と競技指導者が云っていると
おり、私どもは、昨年度には、胸を張って本会の諸規定に準拠し、栄養指導のスペシャリストとして恥
じない各職域における業務に邁進するとともに資質の向上に努め、管理栄養士の国家試験にも12名が
合格しました。

(4) 本年度は、ジャンプの年であります。1963年

飛躍の年であります。助走、ホップ、ステップと40余年に亘って蓄積したエネルギーを振り絞って、
ジャンプする時が参りました。いったい、栄養士のエネルギーとは何でしょうか。指導する相手に、
正しい食生活を実行させる指導力でしょう。このエネルギーは、食生活に関する知識・技術の学習と
食生活指導の専門職としての意欲と根性によって体得した力であると思います。目まぐるしく変転す
る社会に対応する正しい食生活の指導の重要性と困難性を的確に把握することのできるエネルギーで
す。

今年は、雲を掻き分け天に昇ると云われる辰の年であり、私どもにとっては、信玄公の年でありま
す。風林火山の教えを体して待望のジャンプする年であります。その成否は、会員一人一人の飛距離
の総和であります。個人的努力と連帯の組織的生涯学習に期待する1963年であることを確認し合った
新春であることを祈念いたします。

栄養やまなし

〒400
甲府市丸の内
二丁目38-8
山梨県栄養士会
☎ 0552-22-8593

No. 25
63年 2月